



# 取り扱い説明

## リモートタイプ (ワイヤレス) 使用される前に必ずご一読下さい。

・ヒートッド・ギア製品は、必ず専用のコントローラーと組み合わせて使用して下さい。

・まず付属のバッテリーケーブルをバイクのバッテリーに接続します。バッテリーに接続されているグラウンド (-) ケーブルを外し、続いてプラス (+) を外して下さい。付属の バッテリーケーブルのプラス (ヒューズが付いている側) をバッテリーのプラス (+) 端子に、マイナス (ヒューズの無い側) をマイナス (-) 端子にそれぞれ接続して下さい。バッテリーケーブル のプラグ (黒色) を受信部のジャック (赤色) と接続して下さい。

・バッテリーケーブルに接続すると、受信部のLEDが点灯します。LEDが赤色点灯なら回路はOKです。もし橙色なら+/-が逆なので変更して下さい。

・ヘラソケットタイプのコネクタを使用される場合は、上記バッテリーケーブルの取り付けは必要ありません。ただし車種 (特にBMWの各車) によって電流容量に制限があったり許容上限を超えると自動的にカットオフされる設定が有りますのでご注意ください。

・W&S のヒートッド・ギアの全製品 (ジャケット・グラブ・パンツ・ソックス) を同時に接続して最大温度に設定した場合の消費電流は12V1.1A程度になります。(最大温度に設定して連続使用するような使い方は高温になり過ぎるので通常有り得ません) ご使用のバイクの発電容量やバッテリーの消耗状態にご注意下さい。

・作動中コントローラーのLEDが点滅しますが、LEDが点灯している間はヒートウエアに送電しています。送電時間のインターバルで温度を調整しています。ただし内部電池の消耗を防ぐ為、温度設定ツマミを回転させてから1秒経過するとLEDは消灯します。

・送信機内のバッテリー消耗を防ぐ為、ダイヤル操作後に数回点滅 (これはコントローラーの命令を受信機がアクセスした事を知らせています) した後に1~2秒でLEDは消灯しますが、故障ではありません。

・コントローラーは防水で、雨中の走行でもご心配いりません。

・防水対策の為に温度設定ツマミ軸受にはOリングが封入されています。回転が重い場合はツマミ取り付けネジを緩めて調整して下さい。

・内部電池の消耗を防ぐため、使用しない時にはツマミをOFFにしておいて下さい。

・内部電池の交換以外に、本体を分解したり改造される事はおやめ下さい。

★★標準で装着されている電池はテスト用ですので、長期間の使用には向かない可能性が有ります。★★

### 操作部 (送信部) と受信部の同期の取り方

1. 受信部のプラグをバッテリーケーブルから外して下さい。
2. リモコン操作部 (送信部) の温度設定ツマミを操作して、ON-OFFを連続して3回繰り返してからOFFの状態を維持して下さい。(2CHタイプの場合は、リモコン操作部の赤色のツマミで上記の操作をして下さい)
3. リモコン操作部のLEDが約10秒間、すばやい2回点滅を繰り返します。
4. 上記LED点滅中に、受信部のプラグをバッテリーケーブルに接続して通電して下さい。
5. この操作により、リモコン操作部と受信部が同期します。
6. もし同期に失敗した場合は、上記1~4の操作をもう1度行って下さい。

### リモコン操作部 (送信部) の内部電池交換の方法

1. リモコン操作部のLEDが点滅を繰り返すようになったら、内部の電池が消費しているか新品に交換して下さい。
2. リモコン操作部の四隅 (WS-HT-RM1の場合は3ヶ所) のプラスネジを外すとフタが開きます。
3. 内部に入っている市販の電池 (WS-HT-RM1はCR2032が1個、WS-HT-RM2は単4電池が2本) を新品に交換してフタを元に戻して下さい。フタの内部には防水の為のゴムパッキンが組み込まれています。耐水性維持の為、ゴムパッキンにゴミやホコリが付かないように注意してフタを元に戻しネジをしっかりと締めて下さい。
4. 内部の電池は通常の使い方 (約半年~1年) 程度は持ちます。(使用頻度や送信・受信部の作動距離等いくつかの要素で電池寿命は変わります)
5. 電池交換作業以外で、フタを開けたり内部を分解される事は避けて下さい。
6. リモコン操作部 (送信部) の内部電池を交換しても、受信部との同期は保持されていますので再度同期を取る必要は有りません。

### リモート (ワイヤレス) 方式の温度コントローラーの基本的な使い方

1. ジャケット (WS-JLM4) の左ポケット内の奥に、温度コントローラーの受信機をピッタリと収納出来る小ポケットがございますので、そこに受信機を挿入して下さい。ヒートッドパンツなどを併用される場合は、小ポケットからジャケット内部を貫通して裏側にケーブルを通す事が出来る構造になっております。受信機は防水構造なので、ジャケットにセットしたまま水で手洗い可能です。(但し、ドライクリーニングや洗濯機の使用は絶対に避けて下さい)

2. ジャケット左ポケット内に来ているジャケット電源供給用のケーブル・コネクタを受信機に繋げて下さい。

3. 受信機から出ている電源供給用のケーブルを左ポケットから外に出して、バッテリーハーネス (WS-AC-16) に繋げて下さい。(この状態で全開の33%温度設定での発熱を開始します)

4. その状態で、コントローラーの送信機のダイヤルをONにすると、受信機は送信機からの命令を受けて、ダイヤルの位置により好みの温度に設定されます。ダイヤルを左一杯にクリックする所まで回すとOFFになり、受信機からジャケットへの電源供給は止まります。再度右に回してONにすれば、また送信機からの命令を聞くようになります。送信機内のバッテリー消耗を防ぐ為、ダイヤル操作後に数回点滅 (これはコントローラーの命令を受信機がアクセスした事を知らせています) した後に1~2秒でLEDは消灯しますが、故障ではありません。

5. バイクから離れる時は、3. の操作で繋げたバッテリーハーネスを受信機から外して降りて下さい。その時送信機のダイヤルの位置がどこに設定されていても、バッテリーハーネスを外すと同時に、通電はOFFになり発熱は止まります。送信機のダイヤルがONのままだと、微電流ですが送信機内のバッテリーを消耗しますので、左一杯クリックする所まで回してOFFにして下さい。(仮にそのままONで放置しても、コントローラーの電源はバッテリーセーブの為に約30分後に自動でOFFになります)

### リモートタイプ (ワイヤレス) 温度コントローラーの動作説明

1. ワイヤレス方式の温度コントローラーWS-HT-RM1・WS-HT-RM2を含めまして、Warm & Safe社の温度コントローラーの温度調節方式は、『電圧』の制御 (たとえば0~12Vの可変) 方法ではなく、通電ON-OFFの『時間』の制御で調整しています。ダイヤルを右に一杯まで回した状態にセットすると、常にONの状態を通電され、左に戻すにつれてONの時間が短くなるようになっており、左一杯のクリックまで回すと通電は切れてOFFになります。ダイヤルの回転操作で、繰り返されるONとOFFの時間が変化するようにであれば (右に回すほどONの時間が長くなる)、コントローラーの動作としては正常です。コントローラー送信機内部のバッテリー消耗を防ぐために、ダイヤル操作後に数回点滅 (これはコントローラーの命令を受信機がアクセスした事を知らせています) した後に、1~2秒でLEDは消灯しますが、故障ではありません。

2. リモート式の温度コントローラー受信機と送信機の動作説明を下記に説明致します。(赤・黄の2CHどちらも動作は同じです)

- ①受信機側にバッテリーハーネスからの電源を差し込んだ瞬間に、ジャケットへの最高温度 (全開連続発熱) の33%供給を保持します。
- ②次に送信機側のダイヤルを操作する (回す) と、受信機は今まで保持していた33%をキャンセルして、送信機のダイヤル設定値の命令信号に従います。
- ③その後ダイヤルを左方向一杯のクリッする部分まで回してOFFにすると、すべての通電は止まります。
- ④その状態からダイヤルON操作をすると、受信機は送信機のダイヤル指示に再度従います。

仮に①の操作を行ったまま、送信機のダイヤルを何も操作せずにいると、その時のダイヤルの位置に関係なく、受信機はそのまま33%の出力を保持し続けます。このような動作をするのは、ツーリング先で万一送信機を紛失したり、或いは内蔵バッテリーの消耗等で温度調整が出来なくなった場合を想定し、送信機からの信号が受けられなくなった場合でも受信機側で常に全開温度の33%を保つことで、ライダーが寒い思いをしないようにとの配慮でこのような設計になっております。ジャケットへの通電をしない状態での走行を希望される場合、最初からバッテリーハーネスからの電源を受信機に繋がらない (電源を供給しない) か、或いはバッテリーハーネスを繋いで (その瞬間から33%保持) から送信機のダイヤルを回して (その瞬間から受信機はダイヤルの命令に従う) OFFにして頂ければ、ジャケットへは通電されません。その他操作方法や動作プログラム等につきご不明点等ございましたら、お問い合わせ下さい。

**DISTRIBUTION BY:**  
株式会社キャピタル販売  
〒165-0032 東京都中野区鷺宮1-26-2  
Tel: 03-3338-1788 Fax: 03-3338-1786  
E-mail: info@warmsafe.jp

**PLEASE VISIT OUR HOMEPAGE:**  
**www.warmsafe.jp**  
www.twitter.com/warmsafejapan  
www.facebook.com/warmsafejapan